

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ルナネスト		公表日		2025年 3月 11日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に合わせて教室内の模様替えを行うなど、出来る限り教室内を広く使えるように工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		その日の状況に合わせて、児童発達支援管理責任者も支援に参加するなどして、ニーズを満たせるように工夫しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもたちが決めた約束や教室のルール、行動の流れを掲示するなど、視覚的にも情報が収集できるようにしています。	バリアフリー化が必要な利用者がいないため対応していないが、利用者のニーズに合わせて導入を検討していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃を行うのはもちろんのこと「宿題をしたい。」「一人で休憩したい。」「遊びたい。」という子どもたちの気持ちに合わせて、分かれた空間で活動できるようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		カーテンで仕切りを作って一人で過ごせる空間を作っています。疲れてしまったときや寝たいときなど、子どもたちが自由に使えるようになっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		業務改善などの話し合いについては、全職員が参加することを心がけています。参加できなかった場合には、金曜日の定例会議で共有や意見交換を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度保護者様からアンケートを実施し、集計結果を職員全員で共有しています。その際に改善点がどこにあるかを話し合い、改善内容をHPを通して発表し、改善に取り組んでいます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見があればいつでも相談出来るような雰囲気づくりを行うとともに、金曜日の定例会議で業務改善について話し合う機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は第三者による外部評価を行っていません。導入に向けて、第三者機関の選定や調査を行っていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修を月1回で行っている他、外部研修の受講を希望するスタッフに対しては、業務時間内で受講出来るような配慮を行っています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年度末に次年度の支援プログラムについて話し合いを行い、お子様のニーズに合わせたプログラムやスケジュールになるように検討しています。それをもとにプログラムの改善を行い、HP上で公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		支援計画を作成する際には、個々のお子様に対して支援会議を行っています。全スタッフが参加し、普段の様子や前回の目標を共有しながら、多角的な視点で作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画にはスタッフ全員で行っています。前回の目標をどこまで達成できたかを振り返りながら、お子様の将来に必要なことは何かを考えながら、支援計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画をいつでも確認できるように保管されており、支援日誌を書く際に支援目標が確認できるようにしています。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化されたアセスメントツールの利用は今のところ行っていません。今後のアセスメントに必要なツールを検討していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		ガイドラインを確認しながら、支援計画の吟味と作成を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		新年度前に、月ごとのプログラムのテーマを話し合いで決定しています。その後は、毎日の振り返り会議などで、お子様の課題に合ったプログラムが出来るように検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		月ごとにプログラムのテーマを変更し、お子様に必要な学びが行えるように工夫しています。また、プログラムの進行担当を複数人で行うことで、様々な視点で行えるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○		基本的には集団での活動がメインですが、集団活動以外の時間で個別の支援や声掛けを行っています。また、個別での活動が必要なお子様に対しては、個別や少人数での支援も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		朝の振り返り会議の際に、支援の役割分担やお子様への対応を検討しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		翌日の朝に、前日の振り返り会議を行い、1人1人のお子様に対して共有を行っています。共有内容はメモをとり、今後の支援の方針などを逐一検討しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○		支援終了後に様子を支援日誌として記録するとともに、翌日の朝の振り返り会議での内容も、記録と検討・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○		半年に1回、モニタリングを行い見直しを図っています。その際に保護者の方や支援員さんからいただいたニーズをもとに、職員間で話し合いを行い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		○		4つの基本活動を満たした総合的な支援を行うために、年に1度月ごとのプログラムのテーマを検討・改善を行い、それに沿って支援を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。		○		定期的にお子様自身が活動を選択できる場面を用意しています。また、余暇時には、子どもたち自身で過ごし方を選ぶように、決めることが難しい場合には選択肢を提示するなどしています。		
関	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		全スタッフが同じレベルでお子様を理解するために、毎日の振り返り会議に全員が参加しています。どのスタッフが参画しても同じように共有が出来るよう配慮しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		定期的に相談支援員さんと連絡を取り合い、連携した支援が行えるように配慮をしています。	保険、医療機関との定期的なやり取りは無いので、ニーズに合わせて行える体制を検討していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○		送迎時などに顔を合わせる際に、学校の様子をお聞きするなど情報共有をさせていただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○			現在は情報共有を行っていません。保護者の方に確認をしながら、必要に応じて情報共有を行っています。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		今までは該当するお子様がいないので行っていませんが、ご本人や保護者の方、事業所からのご希望があった場合は、支援の振り返り記録を共有できるように、体制を整えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		児童発達支援センターとの連携は現在行っていません。どんな形で出来るのか、情報収集をしながら検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			公園などに出かけて遊ぶ際、地域のお子様と一緒に遊べるような状況の場合、スタッフが間に入りながら同じ活動に取り組むようにしています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		日程調整や時間の捻出を行い、出来る限り参加できるように検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			連絡帳やLINE、お電話などですぐに状況を伝え合えるような仕組みを作っています。また、希望していただいた方には対面かお電話で面談が出来るように、毎月のお知らせで周知しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在は行っておりません。ニーズの把握を行いながら、最もご要望にお応えできる形での実施を検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に、資料を使いながら説明を行っています。また、変更などがあった際には、資料の配布と直接のご説明を行い、ご不明点に関しては何時でもご質問していただけるようにしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			事前に保護者様と面談を行い、学校や家での様子をヒアリングしています。ニーズを把握した後に、スタッフ間で話し合いを行いお子様視点での作成を行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			計画の説明と同意を得るとともに、ご不明点があった場合いつでもご質問を受けられるように体制を整えています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			毎月お配りしている出席予定表で、面談希望の有無を確認するとともに、日々お電話やLINEなどでも面談の希望を受け付けるように周知しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在開催は出来ておりません。皆様のニーズを調査しながら、ご希望に合った形で行えるように検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			契約時に苦情対応窓口のご案内を行い、いつでもご連絡いただけるように体制を整えています。苦情があった場合には、優先的に対応できるように尽力していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			HPのブログを毎日更新し、活動の内容やお子様の様子が分かるようにしています。また、お子様一人一人の成長を記録した「成長記録」を定期的に発行し、出来ることかのように増えたのかお伝えしています。イベント情報などは公式LINEでも情報発信をし、様々な形で情報を受け取ってもらえるようにしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			紙ベースの個人情報は鍵のかかる初夏で管理を行い、デジタルのものは社内で独立したサーバーで管理しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			お子様に対して伝える際は、視覚的にも情報が伝わるように絵や図を用いるなど工夫を行っています。保護者の方へは、連絡帳やLINE、お電話など複数の方法をご用意し、選んでいただけるようにしています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		個人情報保護の観点から現在は行っていません。利用者様のご意向などを伺いながら、検討を行っていきます。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、職員に周知するとともに、訓練を実施しています。訓練の内容をブログで公開し、保護者の方にも周知していません。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、年に2度訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認を行い、必要な対応についても共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認を行い、必要な対応についても共有を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、年に2度訓練や研修を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		非常時の対応について、連絡手段などを多めに用意し、連携しやすくするようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起こった際には記録を残し、それについて職員どうして共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月虐待チェックのアンケートを行うとともに、年に2度研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束については、契約の際にご説明をいたうえで、どんな場合に身体拘束が必要になりそうか想定しています。その上で方法を検討し、職員で共有しています。		